

日本マクロエンジニアリング学会 第39回秋季研究大会

主催：日本マクロエンジニアリング学会（JAMES）

後援：日本工業大学

NPO マクロエンジニアリング研究機構(RIMEP)

日本マクロエンジニアリング学会は“持続可能な未来を創造するマクロエンジニアリング”をキャッチフレーズに、“研究・発表・実装を通じ、社会に貢献する”としております。

本研究大会では、SDGsの認知度が高まり注目される中、農地流動化、資源リサイクル、可燃ごみの広域処理の環境アセス、およびESD(持続可能な開発のための教育)とSDGs教育を中心とした環境教育について、マクロエンジニアリング的取組をご提案いたしますので、質疑応答や総合討論を通じ、皆様と一緒に考察したく存じます。一般の方、会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時 2020年11月8日(日) 15:00~17:30

場 所 Web会議

参加費 一般：0円（本学会準会員になれる特典あり）
本学会員：0円（学生は有効期限内の学生証を掲示いただければ無料）

プログラム 一般公演 発表25分、質疑5分（発表者交代を含む）

14:55 開場、受付

15:00 開会あいさつ 日本マクロエンジニアリング学会 会長 茂木 創

15:05 「資源回収ステーションにおけるリサイクル協力行動の特徴分析」

劉曉玥；劉庭秀；大窪和明；小山内詩織（東北大学大学院 国際文化研究科）

15:35 「持続可能な開発目標達成に向けた環境教育の歴史的変遷と課題-ESDとSDGs教育を中心に」

小山内詩織；劉庭秀；大窪和明；劉曉玥（東北大学大学院 国際文化研究科）

16:05 「都市近郊型農業における農地流動化に関する一考察」

新田義修；濱道真唯（岩手県立大学 総合政策学部）

16:35 「可燃ごみの広域処理による環境影響の評価手法に関する研究」

戸敷浩介；前田拓真（宮崎大学 地域資源創成学部）

17:05 総合討論および閉会の挨拶 日本マクロエンジニアリング学会 企画委員長 八木田浩史

お問い合わせ 日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒195-0054 東京都町田市三輪町530-1 (株) デザインウォーター内

電話 044-701-0600 FAX 044-988-1876

Mail : info@jame-society.jp URL : <http://www.jame-society.jp/>



<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の犬来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。